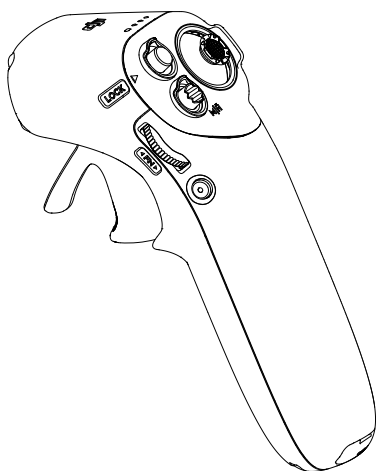


DJI RC Motion 2

ユーザーマニュアル

v1.0

2023.03



🔍 キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探することができます。Adobe Acrobat Readerを使用して本書をお読みの場合、WindowsではCtrl+F、MacではCommand+Fを押して検索を開始できます。

👉 トピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

🖨️ 本書の印刷

本書は高解像度印刷に対応しています。

本マニュアルの使用方法

凡例

⚠ 重要

💡 ヒントとコツ

フライト前に

すべてのチュートリアルビデオの視聴をお勧めします。初回使用前に、同梱の文書をお読みください。初めての飛行に関する詳細は、本ユーザーマニュアルを参照にしてください。

⚠ ・5.8 GHzは、一部の地域では対応していません。この周波数帯域は、これらの地域で機体がアクティベーションまたはDJI™ Flyアプリに接続されると自動的に無効になります。現地の法律および規制を順守してください。

チュートリアルビデオ

<https://www.dji.com/rc-motion-2/video>

DJI Flyアプリのダウンロード

<https://www.dji.com/rc-motion-2/downloads>

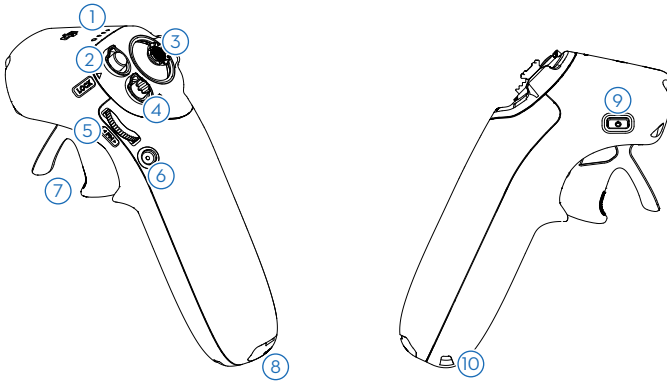
DJI Assistant 2（一般向けドローン用）のダウンロード

<https://www.dji.com/rc-motion-2/downloads>

目次

本マニュアルの使用方法	3
凡例	3
フライト前に	3
チュートリアルビデオ	3
DJI Fly アプリのダウンロード	3
DJI Assistant 2（一般向けドローン用）のダウンロード	3
概要	5
モーションコントローラーの使用	7
電源のオン／オフ	7
リンク	8
アクティベーション	9
カメラの操作	9
機体の制御	10
モーションコントロール	13
モーションコントローラーのアラート	14
モーションコントローラーのキャリブレーション	14
ファームウェア更新	15
付録	16
仕様	16
アフターサービス情報	16

概要



1. バッテリー残量LED

2. ロックボタン

離陸：2回押すと機体のモーターが起動し、長押しすると機体が離陸します。機体は約1.2 mまで上昇し、ホバリングします。

着陸：機体のホバリング中に長押しすると、機体は着陸し、モーターが停止します。

ブレーキ：1回押すと、機体の動作にブレーキがかかり、その場でホバリングします。もう1回押すと、ブレーキは解除されます（姿勢ロックが解除されます）。

機体がRTHまたは自動着陸を実行中に、ボタンを1回押すとRTHまたは着陸をキャンセルします。

3. ジョイスティック

上下に動かすと、機体上昇または下降します。左右に動かすと、機体が水平方向の左または右に動きます。

4. モードボタン

押すと、ノーマルモードとスポーツモードが切り替わります。長押しすると、RTHを起動します。再度押すと、RTHはキャンセルされます。

5. FNダイヤル

このダイヤルを押すと、FPVビューでカメラ設定パネルが開きます。ダイヤルを回すと、設定メニューを移動したり、パラメーター値を調整したりでき、ダイヤルを押すと、選択を確定します。ダイヤルを長押しすると、現在のメニューが終了します。

離陸前、RTH中、着陸中に、FNダイヤルを使用して、カメラのチルトを操作します。FPVビューからFNダイヤルを長押しした状態で、上もしくは下に回転させると、カメラのチルトを操作できます。FNダイヤルを離すと、カメラのチルト操作は止まります。

6. シャッター／録画ボタン

1回押す：写真を撮影する、もしくは録画を開始／停止します。

長押し：写真モードと動画モードを切り替えます。

7. アクセル

アクセルを操縦者側に引くと、ゴーグル上でサークルが表示されている方向へ機体が飛行します。アクセルを前方に押すと、機体は後方に飛行します。アクセルにかける力によって、加速度が変化します。離すと停止して、ホバリングします。

8. USB-Cポート

9. 電源ボタン／リンクボタン

電源ボタンを1回押すと、現在のバッテリー残量を確認します。

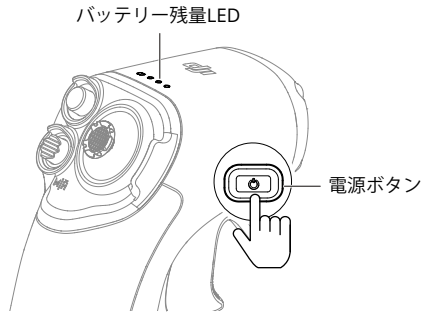
ボタンを1回押し、次に長押しすると、送信機の電源オン／オフを切り替えられます。

電源オンの状態で、電源ボタンを長押しすると、リンクを開始します。

10. ストラップ取付口

モーションコントローラーの使用

電源のオン／オフ



電源ボタンを1回押すと、現在のバッテリー残量を確認します。

電源ボタンを押した後、長押しすると、モーションコントローラーの電源がオンまたはオフになります。

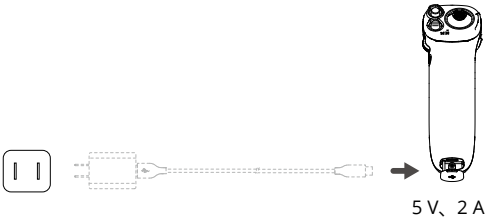
バッテリー残量LEDは、充電中および放電中に、バッテリーの残量を表示します。LEDのステータスは以下のように定義されます：

- LED点灯。
- ☀ LED点滅。
- LED消灯。

LED				バッテリー残量
○	○	○	○	81%～100%
○	○	○	☀	76～80%
○	○	○	○	64%～75%
○	○	☀	○	51～63%
○	○	○	○	26%～50%
○	☀	○	○	16%～25%
○	○	○	○	9%～15%
☀	○	○	○	1%～8%

バッテリー残量が少ない場合、5 V、2 A以上の出力対応の充電器を使用して、デバイスを充電することをお勧めします。

⚠ • 充電器のデフォルトの出力電圧が5 Vであることを確認してください。過電圧によりデバイスが損傷する可能性があります。



下の表は、充電中のバッテリー残量LEDを示しています。

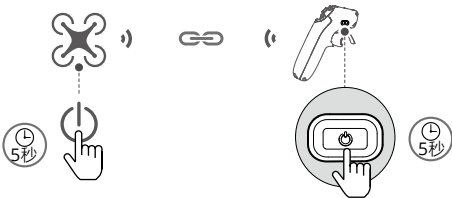
LED				バッテリー残量
				1%～50%
				51%～75%
				76%～99%
				100%

リンク

リンク前の準備：

1. 機体、ゴーグル、モーションコントローラーの電源を入れます。
2. ゴーグルメニューを開きます。[ステータス]を選択し、メニュー上部に表示されている機体モデルが正しいことを確認します。正しくない場合は、メニューの右上隅から[切り替える]を選択し、正しい機体を選択します。
3. 機体がゴーグルとリンクしていることを確認します。

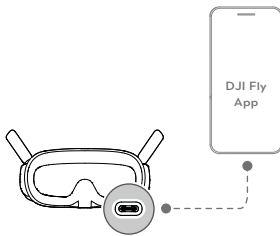
機体をモーションコントローラーにリンクします。



- 1 バッテリー残量LEDが順に点滅し始めるまで機体の電源ボタンを長押しします。
- 2 コントローラーのピープ音が連続して鳴り、バッテリー残量LEDが順に点滅するまで、モーションコントローラーの電源ボタンを長押しします。
- 3 リンク作業が正常に終了すると、モーションコントローラーのピープ音が止まり、機体とモーションコントローラー両方のバッテリー残量LEDが点灯してバッテリー残量が表示されます。

⚠ • 飛行中、機体は1台の送信機デバイスでのみ制御できます。機体が複数の送信機デバイスとリンクされている場合には、飛行前に他の送信機デバイスの電源を切っておいてください。

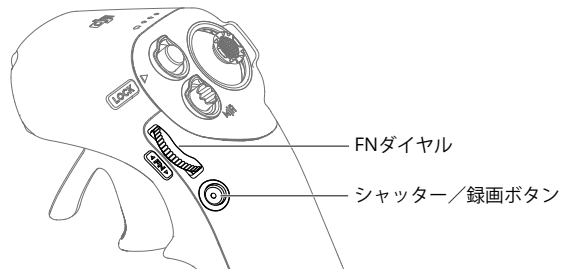
アクティベーション



全ての機器の電源がオンの状態でリンクされている時、ゴーグルのUSB-Cポートをモバイル端末に接続し、DJI Flyアプリを起動します。アプリはDJI RC Motion 2を自動的に認識し、サイレントモードでアクティベーションします。

アフターサービスを正常に受けられるように、購入後はできるだけ早くデバイスをアクティベーションしてください。

カメラの操作



FNダイヤル

カメラパラメーターの調整：このダイヤルを押すと、ゴーグルのFPVビューからカメラ設定パネルが開きます。ダイヤルを回すと、設定メニューを移動したり、パラメーター値を調整したりでき、ダイヤルを押すと、選択を確定します。ダイヤルを長押しすると、現在のメニューが終了します。

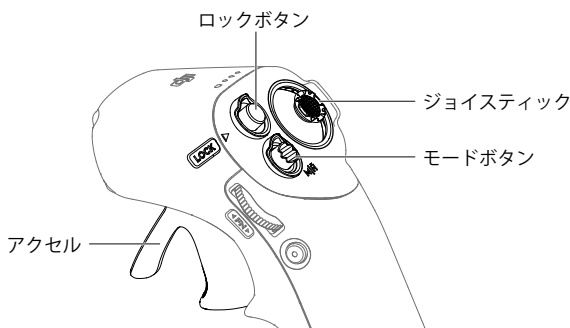
カメラのチルト制御: 離陸前、RTHおよび着陸中に、FPVビューからダイヤルを長押しし、上下にスクロールするとカメラの傾きを調整します。FNダイヤルを離すと、カメラのチルト操作は止まります。

シャッター／録画ボタン

長押しすると、写真モードと動画モードが切り替わります。1回押すと、写真を撮影する、または録画を開始／停止します。

機体の制御

- ⚠️ ・ モーションコントローラーで機体を制御する際の飛行安全性を確保するため、ゴーグルを操作する前にロックボタンを1回押して機体にブレーキをかけて、ホバリングさせてください。これを行わなければ、安全性のリスクが高まり、機体の制御ができなくなる恐れがあります。



モードボタン

モーションコントローラーには、ノーマルモードとスポーツモードの2種類のモードがあります。デフォルトでは、ノーマルモードが選択されています。モードボタンを押すと、ノーマルモードとスポーツモードが切り替わります。

長押しすると、RTHを起動します。再度押すと、RTHはキャンセルされます。

ロックボタン

ロックボタンを使用すると、機体の離陸、着陸、およびブレーキを制御します。

離陸: 2回押すと機体のモーターが起動し、長押しすると機体が離陸します。機体は約1.2 mまで上昇し、ホバリングします。

着陸: 機体がホバリング中にロックボタンを長押しすると、機体が自動着陸してモーターが停止します。

ブレーキ: 飛行中に1回押すと、機体にブレーキがかかり、その場でホバリングします。（機体はモーションコントローラーの動作をフォローしません。（姿勢ロック））もう1回押すと、姿勢ロックが解除され、飛行を再び制御できるようになります。

機体がRTHまたは自動着陸を実行中に、ボタンを1回押すとRTHまたは着陸をキャンセルします。

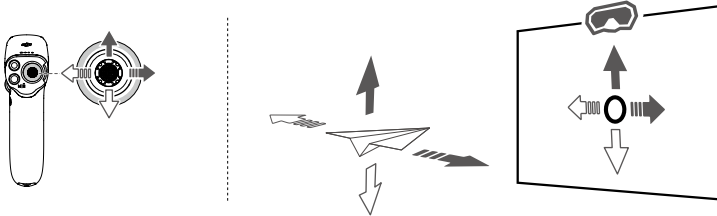
-
- ⚠ • 重度のバッテリー残量低下での着陸はキャンセルできません。
-

飛行中の機体モーターの停止：飛行中に緊急事態（衝突や機体の制御不能など）が発生した場合に、ロックボタンを4回押すと機体モーターを直ちに停止できます。

- ⚠ • 飛行中にモーターが停止すると、機体は墜落します。慎重に操作してください。
-

ジョイスティック

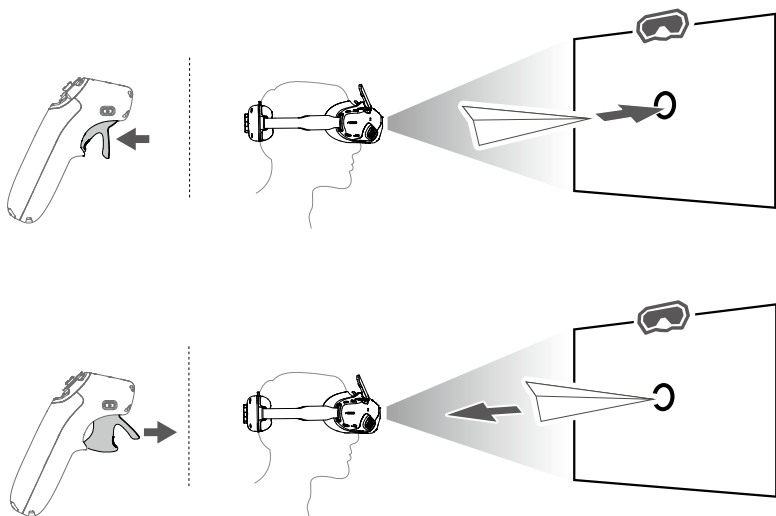
上下に動かすと、機体上昇または下降します。左右に動かすと、機体が水平方向の左または右に動きます。



-
- ☀ • ロックボタンを2回押して機体のモーターが起動したら、ジョイスティックをゆっくりと上に倒して機体を離陸させます。
- 機体が着陸位置まで飛行したら、ジョイスティックを下に倒して機体を着陸させます。着陸後、ジョイスティックを下に倒した状態で保持すると、モーターが停止します。
-

アクセル

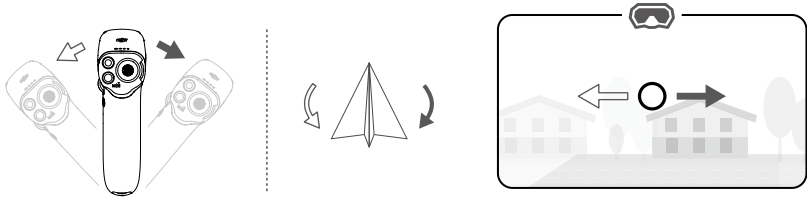
アクセルを操縦者側に引くと、ゴーグル上でサークルが表示されている方向へ飛行します。アクセルを前方に押すと、機体は後方に飛行します。アクセルにかける力によって、加速度が変化します。離すと停止して、ホバリングします。



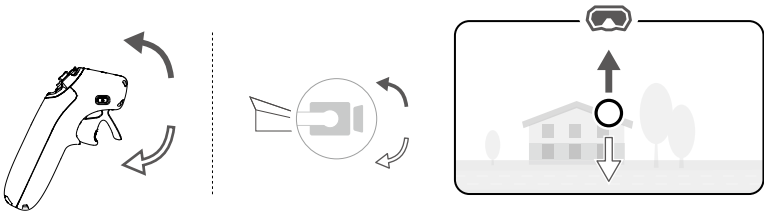
💡 ジョイスティックとアクセルで制御される飛行速度は、次のように設定できます。

1. ゴーグルメニューを開きます。
2. [設定] > [制御] > [モーションコントローラー] > [ゲイン調整]の順に選択し、各方向の最大速度を設定します。

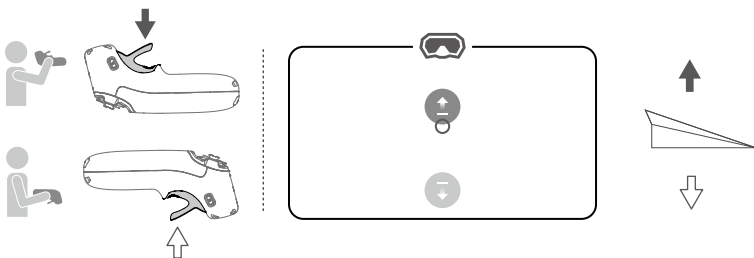
モーションコントロール



機体の方向はモーションコントローラーを左右に傾けることによって制御できます。左に傾けると機体は反時計回りに回転し、右に傾けると時計回りに回転します。ゴーグル画面に表示されるサークル（円）が左右に動き、それに応じて映像伝送の画面も変化します。モーションコントローラーの傾斜角が大きくなるほど、機体の回転は速くなります。



飛行中のジンバルのチルトを制御するには、モーションコントローラーを上下に傾けます。ゴーグル画面内のサークルは上下に動き、それに応じて映像伝送の画面も変化します。



機体の上昇と下降を制御するには、まずモーションコントローラーを上または下に90°傾けます。一旦、ゴーグルの画面上の丸が上昇⬆️または下降⬆️アイコンに入ったら、アクセルを押して機体を上昇もしくは下降させてください。

モーションコントローラーのアラート

コントローラーは、バッテリー残量が6%~15%になるとアラートが鳴ります。電源ボタンを押すと、バッテリー残量低下のアラート音をキャンセルできます。バッテリー残量が5%未満になると重度のバッテリー残量警告が鳴り、これはキャンセルできません。

コントローラーはRTH中にアラート音を鳴らします。アラートをキャンセルすることはできません。

モーションコントローラーのキャリブレーション

モーションコントローラーのコンパス、IMU、アクセル、ジョイスティックをキャリブレーションできます。

キャリブレーションを促す画面が表示されたら、対応するモジュールのキャリブレーションをすぐ実行してください。

1. ゴーグルメニューを開きます。
2. [設定] > [制御] > [モーションコントローラー] > [送信機キャリブレーション]の順に選択します。
3. モジュールを選択し、プロンプトに従ってキャリブレーションを完了します。



- ・磁気干渉の強い場所（磁石付近、駐車場、地下鉄筋コンクリート構造物の建設現場など）でデバイスのキャリブレーションを行わないでください。
- ・キャリブレーション中は、携帯電話などの強磁性体を携帯しないでください。

ファームウェア更新

以下の方法のいずれかを使用して、ファームウェアを更新します。

DJI Flyアプリの使用

機体、ゴーグル、モーションコントローラーの電源を入れます。すべてのデバイスがリンクされていることを確認します。ゴーグルのUSB-Cポートとモバイル端末を接続し、DJI Flyを起動し、プロンプトに従って更新を行います。更新中は、モバイル端末がインターネットに接続されていることを必ず確認してください。

DJI ASSISTANT™ 2（一般向けドローン用）の使用

1. デバイスの電源を入れます。USB-Cケーブルで、デバイスのUSB-Cポートとパソコンを接続します。
2. DJI Assistant 2を起動し、DJIアカウントでログインします。
3. デバイスを選択し、画面左側にあるファームウェア更新をクリックします。
4. ファームウェアを選択します。
5. ファームウェアのダウンロードと更新が自動的に行われます。
6. ファームウェア更新が完了すると、デバイスが自動的に再起動します。

-
- ⚠
- ・更新中はパソコンがインターネットに接続されていることを必ず確認してください。
 - ・ファームウェア更新前に、デバイスに十分なバッテリー残量があることを必ず確認してください。
 - ・必ず記載されている全ての手順に従って、ファームウェアを更新してください。手順に従わない場合には更新に失敗する場合があります。
 - ・ファームウェアの更新には数分かかります。ファームウェア更新が完了するまでしばらくお待ちください。
 - ・更新中は、USB-Cケーブルの接続を外さないでください。
 - ・更新によりパラメーターがリセットされる場合があります。ご注意ください。更新の前に、ユーザー側で変更した設定内容を別途記録し、更新が完了したら再度設定し直してください。
-

付録

仕様

DJI RC Motion 2

モデル番号	RM220
重量	約170 g
動作周波数	2.4000～2.4835 GHz 5.725～5.850 GHz ^[1]
伝送電力 (EIRP)	2.4 GHz : < 30 dBm (FCC)、< 20 dBm (CE/SRRC/MIC (日本)) 5.8 GHz : < 30 dBm (FCC)、< 23 dBm (SRRC)、< 14 dBm (CE)
動作環境温度	-10℃～40℃
動作時間	約5時間
一体型バッテリータイプ	Li-ion
バッテリー材料	LiNiMnCoO2
対応ゴーグル	DJI Goggles Integra DJI Goggles 2

[1] 5.8 GHz周波数帯は、日本を含む、特定の国や地域では使用が禁止されています。詳細については、現地の法規制を確認してください。

アフターサービス情報

アフターサービスポリシー、修理サービス、サポートについては、<https://www.dji.com/support>をご確認ください。



連絡先
DJI サポート

本内容は予告なく変更される場合があります。
最新版はDJIのウェブサイトからダウンロードしてください。



<https://www.dji.com/rc-motion-2/downloads>

本書についてご質問がある場合は、以下にメッセージを送信してDJIまでお問い合わせください。
DocSupport@dji.com

djiは、DJIの商標です。

Copyright © 2023 DJI All Rights Reserved.